

解答



『かなひろい①（蜘蛛の糸）』

芥川龍之介の作品を読みながら「あ・い・う・え・お」
に○をつけましょう

あるひのことでござい[○]ます。お[○]しゃかさまはごくらくのはす
い[○]けのふちを、ひとりでぶらぶらお[○]あ[○]るきになってい[○]らっし
ゃい[○]ました。い[○]けのなかにさい[○]てい[○]るはすのはなは、みんな
たまのよ[○]うにまっしろで、そのまんなかにはあ[○]るきんい[○]ろのず
い[○]からは、なんともい[○]え[○]ないよ[○]い[○]にお[○]いが、た[○]え[○]まなくあ[○]た[○]
りへあ[○]ふれてお[○]ります。ごくらくはち[○]ょうとあ[○]さなのでござ
い[○]ましょ[○]う。やがてお[○]しゃかさまはそのい[○]けのふちに[○]お[○]たた
ずみになって、みずのお[○]もてを[○]お[○]お[○]っているはすのあ[○]い[○]だか
ら、ふとしたのよ[○]うすをごらんになりました。このごくらく
のはすい[○]けのしたは、ち[○]ょうどじこくのそこにはあ[○]た[○]って[○]お[○]
ますから、す[○]い[○]し[○]ょうのよ[○]うなみずをすきと[○]お[○]して、さんず
のかわやはりのやまのけしきが、ち[○]ょうどのぞきめがねをみ
るよ[○]うに、はっきりとみ[○]え[○]るのでござ[○]います。



○の数 合計 51 個